

令和6年度 第1回
生物資源産業学部教育プログラム評価委員会 議事要旨

1. 日 時 令和6年12月2日(月) 17:30~18:00
(「生物資源産業学部学生と学部長・専攻長との懇談会」(以下「懇談会」とい
う) 終了後に開催)
2. 場 所 地域創生・国際交流会館5階 フューチャーセンター
3. 出席者 委 員 服部学部長(委員長), 三戸教授(副委員長), 宇都教授, 懇談会出
席の学部学生(別紙のとおり)
オブザーバー 浅田教授, 田井教授, 中澤教授, 懇談会出席の大学院学生(別紙の
とおり)
4. 欠席者 1名
5. 陪席者 青木事務課長, 竹重学務係長, 三好主任, 柳主任, 真木係員

6. 議 題

(1) 副委員長の選出について

委員長から, 副委員長の選出について提案があり, 提案どおり, 三戸委員(教務委員会委員長)が選出された。

(2) 委員(学生)の選出について

委員長から, 委員の選出について提案があり, 提案どおり, 懇談会に出席の学部学生が選出された。

また, 懇談会から引き続き出席の各コース長(浅田教授, 田井教授, 中澤教授)については, 本委員会はオブザーバーとして参加することとした。

(3) 生物資源産業学部のカリキュラムに関する事前アンケートについて

委員長から, 別紙議題3資料により説明を行い, 学生にさらなるカリキュラム等の改善点にかかる意見を求め, 以下のやり取りがあった。

・試験やレポートのフィードバックのない授業があるという意見があり, シラバスにある(到達目標を満たす)理解度があるかどうかを試験で測っており, 教員側は十分に理解されていると判断している場合もあり, 学生側からも教員に質問してほしいこと, 改善に役立てたいことを回答した。

・学部1年次「生物資源産業学概論」について, 知識の不足した状態で高度な内容を聞いても, 内容やそれがどのように活かされるのか理解や想像が難しいため, 教員や卒業修了生, 興味のある参加者等での討論を聴講するのはどうかという意見があり, 教員側としては基礎研究がすぐに世の中に結びつくことは難しいこと, 最先端の研究等に早めに触れて刺激を受けてほしいという意図があることを説明し, 意見を参考にする旨回答した。

・委員長からディプロマポリシーやカリキュラムポリシーについて説明し, 意見等がないか確認を行ったが, 特に意見等はなかった。

(4) その他

なし

8. 報 告

(1) 徳島大学大学院創成科学研究科創成科学専攻の設置について

委員長から、報告1資料により今後の進路の一つとして説明・周知を行った。

(2) その他

なし

以上